

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 162

エントリー学校名：

神奈川県立新羽高等学校

活動名：

組織的授業研究プログラム
 ～新学習指導要領を意識～

解決すべき課題：

新学習指導要領に基づく教育課程の円滑な実施に向けた校内体制づくり

目標・方針：

- (1) 目標・方向性：授業研究テーマの設定及び充実した研修の実施を通して、本校の授業改善目標やその方向性について、教職員全体で共通理解をはかる。
- (2) 育成すべき資質・能力：各教科等の学習指導要領上の目標や内容を再確認するための体験的な機会を提供することで、それらの理解を更に深め、授業研究の深化につなげる。
- (3) 組織的な授業研究：「教科等のグランドデザイン」(横浜国立大学高木展郎名誉教授考案)の作成を通して、学校のミッションや教育目標、学校や生徒の実情等に応じた効果的な授業研究と実践に取り組む。

活動内容：

- 授業研究会：各教科にて、テーマに沿った単元の指導と評価の計画作成・実施・振り返りを行う。
 (テーマ R1：「主体的・対話的で深い学び」に向けた協働学習、R2：学びに向かう力～ICT 活用～)
- 教育課程研修会：新学習指導要領に関する校内教員研修を行う。
 ・改訂のポイントの理解、学校目標に応じた「教科のグランドデザイン」の作成【資料 A】【資料 B】【資料 C】
 ・各教科等の「見方・考え方」を働かせやすい学習課題や場面設定を実現する工夫【資料 D】【資料 E】
- 次年度に向けて：「年間指導計画」の作成等を行う。※「年間指導計画」：教科・科目の目標、評価の観点とその趣旨、学習内容と評価の観点とその評価規準等が記載されている。

活動の成果：

- 校内における目標や方向性：授業研究テーマを設定することで、授業改善の目標や方向性を整えることができ、教科の特性に関わらず汎用性のある指導・支援方法や単元計画の工夫を共有することができた。
- 育成すべき資質・能力：教科の「見方・考え方」に焦点を当てた学習課題等についての研究協議や「教科等のグランドデザイン」の作成により、「育成すべき資質・能力」を全教職員で再確認できた。
- 組織的な授業研究：「教科等のグランドデザイン」の作成を通して、単元の指導と評価の計画作成・実施・振り返りに、組織的に取り組むことの意義を明確化できた。また、グランドデザインの作成体験を通して、全教職員がカリキュラム・マネジメントに取り組む体制づくりをねらいとした。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

次の 3 点を目標とした授業研究プログラム

- (1) 令和 4 年度新学習指導要領に基づく教育課程の年次進行による実施を円滑かつ効果的に実現
- (2) 教育目標、育成すべき資質・能力、学校や生徒の実情等、様々な視点を教職員全体で主体的に整理
- (3) 今後も継続的に行うことによって、カリキュラム・マネジメントを充実させる汎用性があるプログラム

